

# 試 験 地 設 定

区分 任意

上屋久 営林署

(様式1)

開発課題	ヤクスギ天然林施業について(1)				期 間	自 67年度 至 67年度	
開発目的	ヤクスギを主体とする育成天然林へ誘導する施業技術の確立をはかる。						
設 定	場 所	営 林 署	担 当 区	国 有 林	林 小 班		
		上屋久	楠 川	高3浦岳	1938		
	数 量	面 積	数 量				
		0.15ha					
	設 定 年 月 日	S67. 1. 11		終 了 年 月 日	S67. 3. 31		
担 当	営 林 局	造 林 課 係					
	営 林 署	経 営 課 造 林 係					
地 況 及 び 気 象	標 高	方 位	傾 斜	基 岩	土 壤 型	土 性	
	880m	NE	25°	花崗岩類	BD	圃行土	
	深 度	堅 密 度				地 位	
						スギ	ヒノキ
中		中				16	

林 令	林 種	樹 種	混交率	胸高直径	樹 高	材 積	本 数	相対照度	下層植生
		伐 跡 地							
林 況	<p>設定前の施業経緯</p> <p>本箇所は、ス、ヤクスギ等広葉樹を主体とした150年生天然林分と昭和61年度直営生産跡地である。                  尾根沿いの保護樹帯にヤクスギ、ツガ、ミヤコダウ等があり、その種子の飛散を期待して試験地を設定したものである。</p>								
全 体 計 画	<p>1. 試験地設定</p> <p>2. 設定面積 0.15ha 3プロット</p> <p>3. 調査事項</p> <p>(1) 植生調査</p> <p>(2) 稚樹発生調査</p> <p>(3) 成長量調査</p> <p>(4) 功程実績調査</p> <p>4. 施業方法</p> <p>(ア) 地がき</p> <p>(イ) 種子直播</p> <p>(ウ) 人工補正</p> <p>(エ) 放置区</p> <p style="text-align: right;">} 坪州刈出区</p>								

- 記載要領
1. 区分は指示、自主、任意課題別とする。
  2. 全体計画欄は年度別、実施事項及び目標、また、林試等の指導関係を記入する。

(様式2)

## 実 施 計 画

63年度

- (1) 植生調査
- (2) 稚樹発生調査
- (3) 成長量調査
- (4) 地かき地掃及び刈程調査

64年度

- (1) 植生調査
- (2) 稚樹発生調査
- (3) 成長量調査
- (4) 刈出功程調査
- (5) 人工補正

65年度

- (1) 稚樹発生調査
- (2) 成長量調査
- (3) 人工補正

66年度

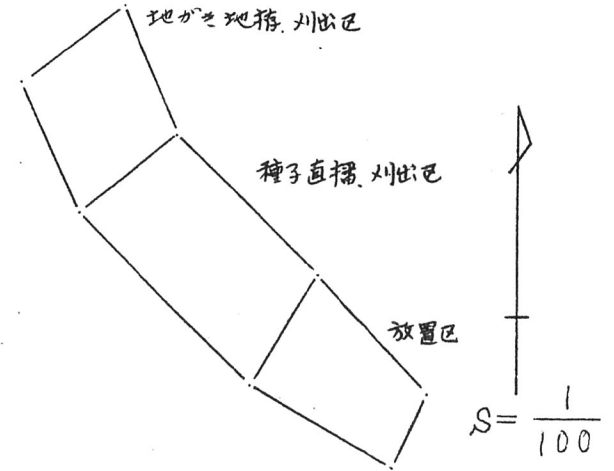
- (1) 成長量調査
- (2) 刈出功程調査

67年度

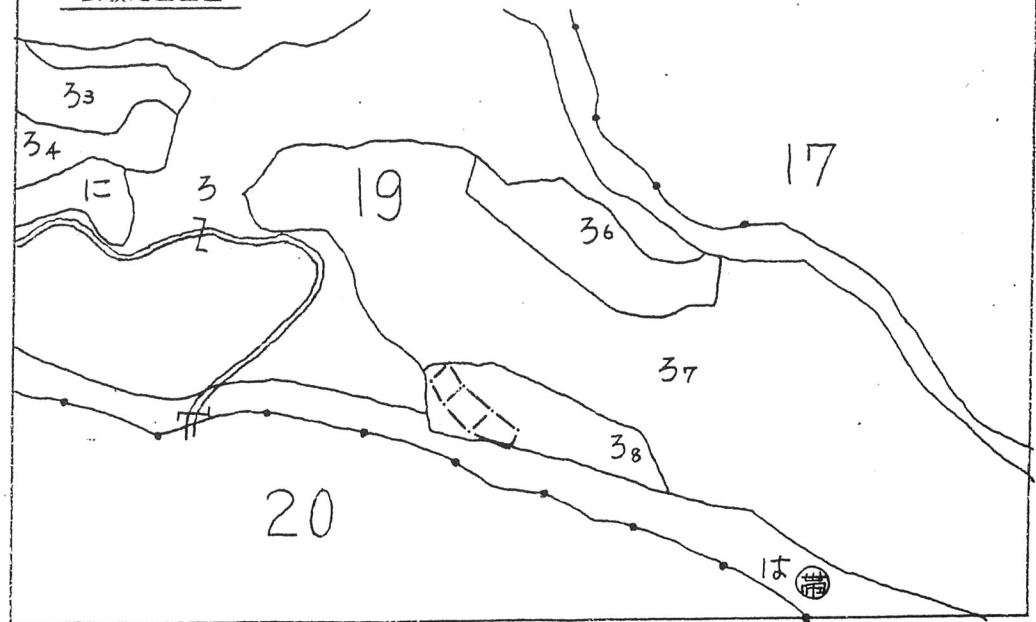
- (1) 成長量調査
- (2) 刈出功程調査
- (3) 成林育打の技術体系のまとめ

記載要領 1. 実施計画は設定方法及び作業方法等具体的に記入する。

試験設定図



試験地位置図



- 1. 試験設定図 縮尺は任意に打すが可能な限り拡大す。
- 2. 試験地位置図 基本図挿入。(縮尺 5000=1)

(様式6)

試験地全景 (1930)

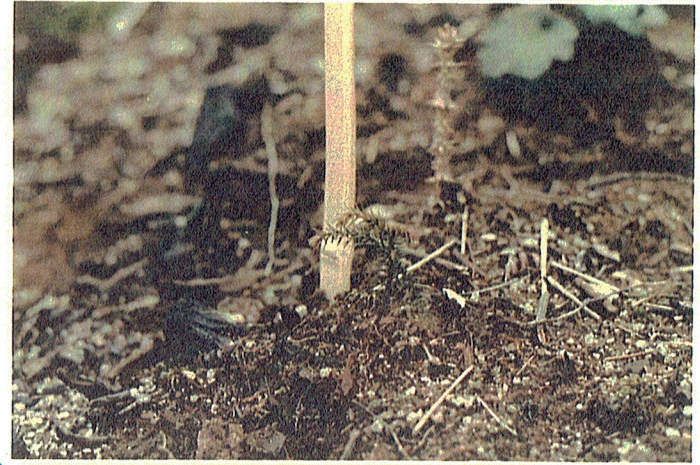


FUJICOLOR BB

③  
放置区

②  
種子直播  
刈出区

①  
地力及地相  
刈出区



FUJICOLOR BB

稚樹発生  
①区



FUJICOLOR BB

稚樹発生  
②区

昭和63年度技術開発実施報告書

様式 2

課題	マクスギを主とした天然林施業について (1)	継続・新規別	経常・特別別	指示・自主別	結果 経常 任意	担当課 造林課	開発箇所 上屋久	期間 昭和63年度 ~ 67年度		
		実施報告							昭和63年度実施計画	評価および普及計画
		昭和62年度までの実施経過を記入のこと							昭和63年度実施結果を記入のこと	
全体計画		昭和62年度までの実施経過を記入のこと			昭和63年度実施結果を記入のこと	昭和63年度実施計画	評価および普及計画			
1. 試験地の設定		63. 1. 11 設定 3700坪 0.15HA	植生調査 2回 成長量調査 (地が2, 地が3区)			(1) 植生調査				
2. 設定面積 0.15HA 3700坪		地が2 地が3 刈込区 0.05HA	天然マクスギ 4本 樹高 0.1~0.4m			(2) 稚樹発生調査				
3. 調査事項		種子直播区 0.07	ヒシヤ 24 " 0.2~0.6			(3) 成長量調査				
(1) 植生調査		放置区 0.03	イナガシ 8 " 0.1~0.7			(4) 地が2地が3 2回 功績調査				
(2) 稚樹発生調査		(1) 生 植 固 不 植 1938	地広 24本 " 0.1~0.8							
(3) 成長量調査		伐区 (5区)	口説 エズリハ, ハイキ, シギ, ササノカ, サクラツツジ, タラノキ							
(4) 功績実績調査			クマイケゴ, ウラジロ外							
4. 施業方法			功績実績調査							
(ア) 地が2			種子直播 HA割 1.2人							
(イ) 種子直播			地が2地が3 HA割 5.4人							
(ウ) 人工補正			刈込区 不実行							
(エ) 放置区			稚樹発生調査							
			調査時 ( ) においては稚樹の発生は見られず							

技術開発課題報告書 (元年度実施報告)

熊本営林局

課題	ヤクスギの天然更新について	継続・新規別	新規	担	造林課	開発 箇所	上屋久営林署	昭和63年度
		指示・自主別	自主					当
年 度 別 実 施 経 過		元 年 度 実 施 報 告				評 価		
63年度 1. 試験地の設定 (63.1) (1) 場所 宮之浦岳国有林 1938 1932 林小班 (2) 面積 ア. 第1試験地 1938 0.15ha ①地かき, 地拵, 刈出区 0.05ha ②種子直播区 0.07ha ③放置区 0.03ha イ. 第2試験地 1932 0.75ha ①刈出区 0.48ha ②放置区 0.27ha 2. 植生調査及び生長量調査		1. 植生調査及び成長量調査 (1) 地かき地拵区 (2) 播種直播区 (3) 放置区 2. 稚樹発生調査 3. 刈出し工期調査						
		事業費 (技術開発) _____ 千円						

課題	ヤクスギの天然更新について (1938)		継続・新規	世 当	造林課	開発 箇所	上屋久 管林署																																																				
目的	更新補助作業を行い、ヤクスギを主体とする天然林へ誘導する 施策方法について検討する。		指示・ <del>世</del> 任意	昭和63年度～平成4年度																																																							
年度別実施経過	元年度 実施報告	2年度 実施計画		備 考 (評価及び普及計画等)																																																							
	<p>* 植生調査および成長量調査</p> <p>1. 地が2地帯区(700m以内)</p> <table border="1"> <tr><td>天然生ヤクスギ</td><td>5本</td><td>樹高</td><td>0.1~0.5m</td></tr> <tr><td>ヒメシヤラ</td><td>369</td><td></td><td>0.5~1.2m</td></tr> <tr><td>イマカシ</td><td>1</td><td></td><td>0.7</td></tr> <tr><td>他木</td><td>45</td><td></td><td>0.8~1.2</td></tr> <tr><td>計</td><td>387</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>前年度の本数減は刈出(行刈)による伐除</p> <p>2. 播種直播区</p> <table border="1"> <tr><td>天然生ヤクスギ</td><td>1本</td><td>樹高</td><td>0.1m</td></tr> <tr><td>ヒメシヤラ</td><td>21</td><td></td><td>0.6~1.5</td></tr> <tr><td>ユズリハ</td><td>15</td><td></td><td>0.8~1.3</td></tr> <tr><td>他木</td><td>37</td><td></td><td>0.4~1.5</td></tr> </table> <p>3. 放置区</p> <table border="1"> <tr><td>天然生ヤクスギ</td><td>3本</td><td>樹高</td><td>0.2m</td></tr> <tr><td>ヒメシヤラ</td><td>10本</td><td></td><td>0.5~1.7</td></tr> <tr><td>ユズリハ</td><td>14</td><td></td><td>0.7~1.3</td></tr> <tr><td>イマカシ</td><td>2</td><td></td><td>0.4~1.0</td></tr> <tr><td>他木</td><td>63</td><td></td><td>0.4~1.5</td></tr> </table> <p>* 稚樹発生調査(700m以内) 地帯地帯区 1本 設置区1本</p> <p>* 刈出(工程調査) HA当 42人</p> <p>その他に地が2地帯区 播種直播区に HA当 50本 天下工費にて植込作業を実施す</p> <p>事業費(技術開発) 千円</p>	天然生ヤクスギ	5本	樹高	0.1~0.5m	ヒメシヤラ	369		0.5~1.2m	イマカシ	1		0.7	他木	45		0.8~1.2	計	387			天然生ヤクスギ	1本	樹高	0.1m	ヒメシヤラ	21		0.6~1.5	ユズリハ	15		0.8~1.3	他木	37		0.4~1.5	天然生ヤクスギ	3本	樹高	0.2m	ヒメシヤラ	10本		0.5~1.7	ユズリハ	14		0.7~1.3	イマカシ	2		0.4~1.0	他木	63		0.4~1.5	<p>1. 稚樹発生調査</p> <p>2. 成長量調査</p> <p>3. 人工補正 (下刈)</p> <p>2年度工程調査</p> <p>* 成長量調査の天然ヤクスギについては稚樹に 番号を穿孔標校にて表示</p> <p>事業費(技術開発) 千円</p>	<p>事業費 16千円</p> <p>造林費(育林費)共通</p> <p>丹波林 120本</p>
	天然生ヤクスギ	5本	樹高	0.1~0.5m																																																							
ヒメシヤラ	369		0.5~1.2m																																																								
イマカシ	1		0.7																																																								
他木	45		0.8~1.2																																																								
計	387																																																										
天然生ヤクスギ	1本	樹高	0.1m																																																								
ヒメシヤラ	21		0.6~1.5																																																								
ユズリハ	15		0.8~1.3																																																								
他木	37		0.4~1.5																																																								
天然生ヤクスギ	3本	樹高	0.2m																																																								
ヒメシヤラ	10本		0.5~1.7																																																								
ユズリハ	14		0.7~1.3																																																								
イマカシ	2		0.4~1.0																																																								
他木	63		0.4~1.5																																																								

課題

ヤクスギの天然更新について

1. はじめに

屋久島の国有林は極めて高齢なヤクスギが混交する天然林をもち、原生自然環境の保全形成等世界的に広く注目を集めている。上屋久事業区ではヤクスギの分布区域及びヤクスギが生育していたと推定される区域において、風致景観の維持とヤクスギの保護、育成並びに伐採利用を同時に図るためヤクスギを主体とする天然林施業を行っている。しかし、従来天然更新した箇所におけるヤクスギの生育は、他広葉樹に阻害され良好とは言えない箇所もある状況である。そこで従来天然更新された箇所にも人手を加えて、ヤクスギを主とした優良な天然林へ誘導できるようその技術体系を確立することを目的として取り上げた。

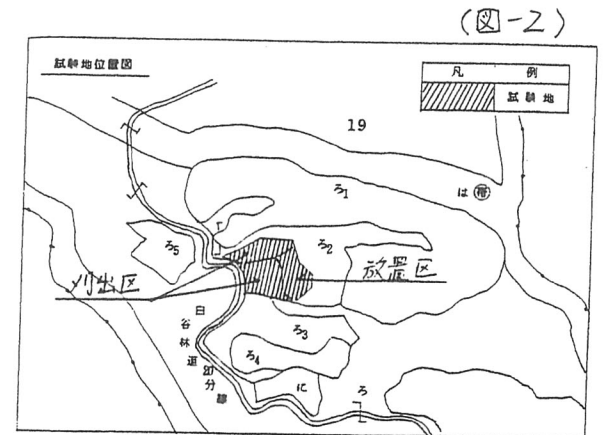
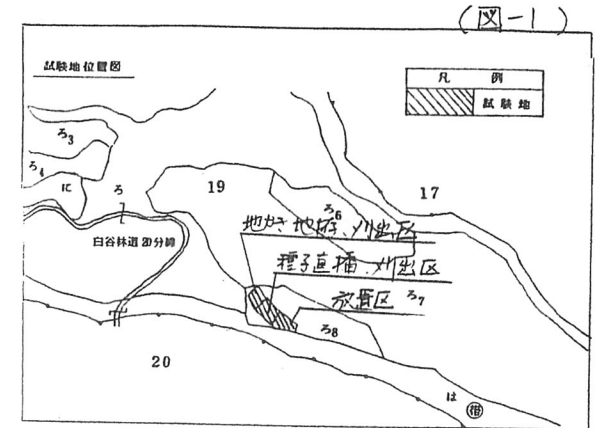
2. 試験地の概要

・第1試験地(図-1)

- 1) 場所 宮之浦岳国有林 19ろ8林小班
- 2) 面積 0.15ha
- 3) 設定年月 昭和63年1月
- 4) 地況 標高 880m 方位 NE 傾斜 25° 基岩 花崗岩 土壌型 BD匍行土
- 5) 林況 伐跡地、イス、ヤマグルマ等広葉樹を主体とした150年生天然林を61年度に伐採、尾根沿いの保護樹帯に、ヤクスギ、ツガ、ミヤコダラ等があり試験地を設定した。
- 6) 施業区
  - ア 地がき地拵、刈出区 0.0460ha
  - イ 種子直播、刈出区 0.0722ha
  - ウ 放置区 0.0354ha

・第2試験地(図-2)

- 1) 場所 宮之浦岳国有林 19ろ2林小班
- 2) 面積 0.75ha
- 3) 設定年月 昭和63年1月
- 4) 地況 標高 730m 方位 W 傾斜 30° 基岩 花崗岩 土壌型 BD匍行土
- 5) 林況 昭和56年度 直営生産跡地  
尾根沿いにある人工更新困難地のヤクスギ等の有用樹の種子により、相当数の天然木が発生している。
- 6) 施業区
  - ア 刈出区 0.48ha
  - イ 放置区 0.27ha



- 記載要領
- 1. 調査結果及び考察を記入する。
  - 2. 状況写真は別途整理する。